

1. 件名：「保安検査に活用する安全に係る指標（P I）の受領について」

2. 日時：平成30年6月28日 10時10分～10時40分

3. 場所：四国電力株式会社 伊方発電所 保安検査官室

4. 出席者

四国電力株式会社：発電用原子炉主任技術者、保安管理課長 他1名

伊方原子力規制事務所：鶴園所長、近藤運転検査官、反町運転検査官

5. 要旨

(1) 四国電力株式会社から、平成28年4月13日の原子力規制委員会から発電用原子炉設置者宛ての指示文書に基づき、P Iデータ等（文書及び電子データ）の提出があった。

(2) 事業者から不適合の処置の未完了件数について説明があり、平成29年度末時点では25件となっているが、現時点では13件が完了し、残り12件についても4件は完了予定、5件は3号の定期検査中に完了予定、3件についても計画的に進めて行くとの説明があった。伊方規制事務所からも滞ることなく適切に処理を進めるよう要望した。

事業者から定検期間中の炉心損傷確率の変化（ $\Delta C D F$ ）のピーク値と平均値について説明があり、伊方規制事務所からピーク値の時期について質問したところ、燃料取出し前のRCSの水抜き操作時がピークとなるとの回答があった。

事業者から内部監査の指摘事項件数は0件だったという説明があり、伊方規制事務所から0件の妥当性について質問したところ、社内規定に適合していないものを指摘事項として挙げることにしており、平成29年度は社内規定に適合していないものはなかったとの回答があった。

6. その他

提出資料：「保安検査における指標の収集結果の提出について」

以上